

週替わりで一息！

第2032例会（第43版）

今回の二十四節気・七十二候（にじゅうしせつきしちじゅうにこう）

立夏（りっか） 夏のきざしがあちこちに現れる時期です。街の中をさわやかな薫風（くんぷう）[初夏、新緑の間を吹いてくる快い風（こころよいかぜ）] が吹き抜けていく頃。一年のうちで、もっとも過ごしやすい季節です。夏が立つと書くことから夏の気配が感じられる時期を指し、春分と夏至の中間頃に位置し、暦の上では立夏から立秋の前日までが夏と考えられています。

末候「五月十五日～五月二十日」竹笋生（たけのこしょうず） 21

「竹の子が生えてくる」たけのこがひょっこり顔を出す頃。伸びすぎないうちに収穫しなければ、美味しいたけのこは味わえません。種類によって収穫期は異なるので、三月から六月頃まで収穫でき、孟宗竹は三月頃から出回る物もあるようです。この時期夜には闇夜からホトトギスが特徴のある声を響かせる頃でもあります。「二上の山に隠れるほととぎす今も鳴かぬか君に聞かせむ」二上（ふたがみ）の山に隠れているホトトギスよ今になっても鳴かないの？ 大切なお方にその鳴き声を聞かせたいのに。とか、誰よりも一番にその声を聞きたいから眠らずに待つ・・・など。七十二候で楽しむ日本の暮らし、万葉歳時記一日一葉より



10年前の主なニュース（2006年5月14日～5月20日）

- ・美浜3号運転再開。現在は停止しているが安全対策費の負担が重く廃炉の可能性有り。
- ・新大関白鵬が初優勝。現在37回目の優勝を目指しています。

「本日5月6日の金曜日」「ゲスト卓話 ヒサナカ経営労務研究所 所長久中哲夫氏」



■福井県の労働状況と、労働基準監督署がどのように調査に入るかについて■



長寿寿齢賞（91歳）



会長エレクト研修協議会修了証



☆おめでとうニコニコ☆



「答えは17！」